

開館20周年記念誌

目で見る20年のあゆみ



国立婦人教育会館

1997

目 次

あいさつ	1頁
1. 沿革(あゆみ)	2頁
2. 利用の状況	20頁
3. 主催事業のテーマの変遷	24頁

表紙の写真は
女性学ジェンダー研究フォーラム
(平成9年8月1日～8月3日)
参加者のみなさんです。



あいさつ

大野 曜

国立婦人教育会館は、国立としては唯一の成人女性のための社会教育施設として、昭和52年秋に開館しました。以来20年、多くの方に支えられ、順調に発展してきたことに心から感謝申し上げます。これは、会館の設置が国際婦人年記念事業としての性格を持ち、生涯学習の重要性が社会に認識されてきた時期に当たっていたこと、男女共同参画社会の形成を目指す重要施策として位置づけられてきたことにも助けられたと思います。

昨年11月には、延べ利用者数が200万人を超え、その内海外からの利用者も、144ヶ国、延べ3万7,000人にのぼっております。

この間、国際化、情報化等の社会の進展に伴い、機能の整備・充実が図られました。

まず、平成2年度から、アジア・太平洋諸国の女性情報専門家研修を開始し、同地域の情報ネットワークの充実を図る一助となっています。平成3年度には、オンラインによる情報検索サービスを開始し、その後女性学講座データベースをはじめとする学習情報データベースや女性及び家族に関する統計データベースの開発、平成7年12月にはインターネット上のホームページの開設もいたしました。平成5年度には、念願の研究員の配置が実現し、文部省科学研究費補助金の交付を受けてより専門的な調査研究事業を実施、この秋には「国立婦人教育会館研究紀要」を発刊いたしました。平成7年度からは、北京行動綱領を受け、ジェンダーに縛られない教育・学習リーダーの研修を「アドバンストコース」としてこれまでの調査研究の成果を活用して実施しています。また、16年間実施した「女性学講座」は昨年度から「女性学・ジェンダー研究フォーラム」に発展し、多くの自主ワークショップが開かれています。

会館では、生涯学習社会の形成、男女共同参画社会の実現を目指して、研修・交流・情報・調査研究の4つの機能の充実と相互連携を図りつつ、諸事業の企画・実施及び館の運営に当たって参りたいと思います。20周年を記念して全国から応募いただいた「ヌエック」の愛称と「シンボルマーク」により、女性を中心に広く国民の生涯学習機関として一層活用されることを心から願い、「エンパワーメントは21世紀への合い言葉―新たな共生をめざして―」更なる発展に向け、全力を傾けて参りたいと思います。

1

沿革（あゆみ）

昭和46年 7月 婦人教育会館調査研究協力者会議（議長 齋藤 正氏）発足

昭和48年 3月 敷地を埼玉県比企郡嵐山町に決定、閣議報告

昭和50年10月 起工式

昭和51年 3月 国立婦人教育会館（仮称）に関する懇談会発足



第1回「婦人教育会館調査研究協力者会議」（昭和46年8月2日国立教育会館にて）



現在は宿泊B棟C棟の中庭



現在は日本庭園の池



着工時



「社会教育審議会」婦人委員の視察（昭和51年11月16日）

昭和52年 7月 国立婦人教育会館（文部省の附属機関として庶務課、事業課をもって発足）

設置 初代館長に縫田曄子氏が就任

8月 第1回運営委員会（会長 齋藤 正氏）開催

9月 本館、宿泊棟完成

10月 研修棟完成 受入れ事業開始

11月 開館式

12月 第1回「全国婦人団体研究集会」開催



宿泊棟・管理棟・研修棟完成



第1回「運営委員会」（昭和52年8月23日）

前列左から望月哲太郎社会教育局長、木田宏事務次官、齋藤正初代会長、縫田曄子初代館長



開館式（昭和52年11月12日）



受入れ事業開始



初の主催事業—第1回「全国婦人団体研究集会」(昭和52年12月7日～9日)

- 昭和53年 2月 第1回公開講座「これからの教育」開催（講師 永井 道雄氏）
 第1回「婦人教育施設研究集会」開催
 3月 機関誌「会館だより」創刊号を発行
 8月 第1回「情報資料協力者会議（情報資料の収集・分類）」開催
 会館ボランティア登録開始
 9月 第1回「婦人教育研究セミナー（婦人の能力開発の課題）」開催
 12月 体育館・屋内プール完成



第1回「公開講座」—これからの教育—（昭和53年2月4日）



第1回「婦人教育研究セミナー」
（昭和53年9月7日～9日）



第1回「婦人教育施設研究集会」
（昭和53年2月8日～10日）



体育館完成



屋内プール完成

- 昭和54年 2月 第1回「婦人学級研究集会」開催
「アジアの女性」写真展開催
- 3月 日本家屋・茶室完成
- 6月 体育施設・日本家屋等落成披露
- 9月 「婦人教育国内研修受入れ事業」開始
- 10月 「婦人教育情報」創刊号を発行



第1回「婦人学級研究集会」（昭和54年2月20日～22日）

日本家屋・茶室完成

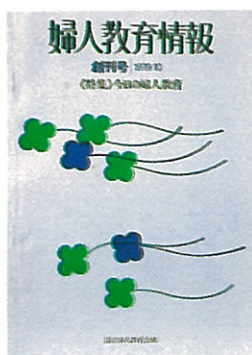


茶室（和庵）
なごみあん



ひびきしよん
日本家屋（響書院）

「婦人教育国内研修受入れ事業」開始（昭和54年9月25日）



- 昭和54年11月 情報図書室開室
- 12月 第1回「家庭教育研究セミナー（家庭教育の課題）」開催
- 昭和55年 2月 第1回「全国婦人教育交流集会」開催
- 7月 第1回「女性学講座」開催
- 12月 ユネスコ「婦人のための教育・訓練・雇用に関する国際セミナー」開催
- 昭和56年 5月 「婦人問題書誌の書誌」発行
- 11月 第1回「婦人教育国際交流事業（婦人の社会参加と生涯教育）」開催



情報図書室開室（昭和54年11月12日）



第1回「家庭教育研究セミナー」（昭和54年12月18日～20日）



国連婦人の10年・1980年世界会議事務局補佐・エリザベス・リードさん来館（昭和54年10月2日）



初の国際セミナー開かれる（ユネスコと会館の共催）（昭和55年12月2日～6日）
—子育て後の再教育・訓練をめぐって—



第1回「婦人教育国際交流事業」（昭和56年11月15日～12月2日）



日ソセミナーで来館されたテレシコワさん（左から二人目）（誓書院にて）

昭和57年 3月 「図書目録第1編」発行

4月 情報図書室「図書複写サービス」開始

6月 皇太子殿下、同妃殿下会館御視察

7月 館長に志熊敦子が就任

第1回「家庭教育学級研究集会」開催

11月 国立婦人教育会館5周年記念事業開催

「婦人教育の充実をめざして—学習と実践の輪を—」



皇太子殿下、同妃殿下会館御視察（昭和57年6月22日）



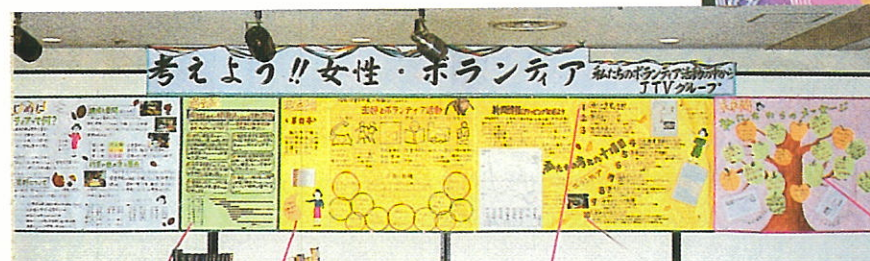
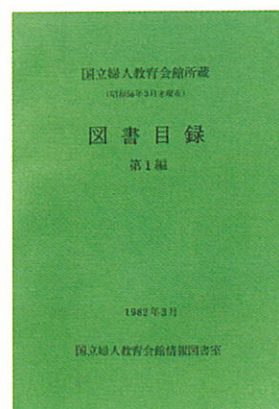
第1回「家庭教育学級研究集会」（昭和57年7月15日～17日）



開館5周年記念事業

「婦人教育の充実をめざして—学習と実践の輪を—」をテーマに昭和57年11月10日から30日まで各種事業を実施—

小川文部大臣を迎えて開館5周年記念論文発表会で挨拶する志熊第2代館長



— 私たちのボランティア活動の中から — JTVグループ

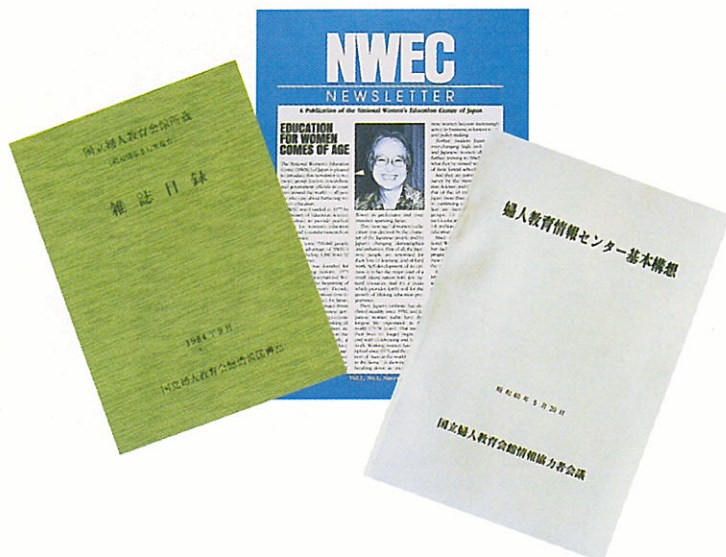


開館5周年記念女性フェスティバル

- 昭和58年10月 OECD・CERI「家庭教育国際セミナー（家庭の教育的役割と両親教育）」開催
- 11月 第1回「婦人の学習活動専門講座」開催
- 昭和59年 9月 「雑誌目録」発行
- 11月 「NWEC Newsletter」創刊号を発行
- 昭和60年 3月 第1回「家庭教育国際セミナー（母親の就業と家庭教育—社会変動と母親の就業—）」開催
- 5月 情報協力者会議「婦人教育情報センター基本構想」を報告



OECD・CERI「家庭教育国際セミナー」（昭和58年10月25日～30日）



第1回「婦人の学習活動専門講座」
（昭和58年11月29日～12月1日）



第1回「家庭教育国際セミナー」（昭和60年3月19日～22日）

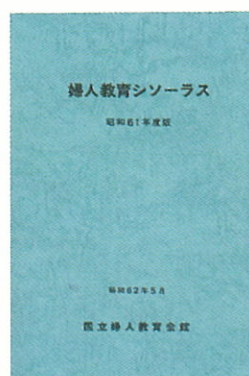
- 昭和60年 8月 機関誌「会館だより」を「国立婦人教育会館ニュース」に名称変更
 10月 「情報に関する婦人教育国際セミナー（婦人に関する国際的情報ネットワークその現状と課題）」開催 「世界の女性雑誌展」開催
 昭和61年 2月 第1回「婦人教育シソーラス調査研究会」開催
 第1回「婦人国際交流集会」開催
 4月 「婦人教育史に関する調査研究」開始
 12月 ESCAP主催「婦人情報ネットワークシステムの開発に関する地域セミナー」開催



「情報に関する婦人教育国際セミナー」（昭和60年10月29日～31日）



「世界の女性雑誌展」（昭和60年10月22日～24日）



第1回「婦人国際交流集会」（昭和61年2月19日～20日）



ESCAP主催「婦人情報ネットワークシステムの開発に関する地域セミナー」（昭和61年12月1日～5日）

- 昭和62年 4月 館長に前田瑞枝が就任
 5月 会館利用者延べ100万人達成
 11月 国立婦人教育会館10周年記念事業開催
 婦人教育情報センター開所
 昭和63年 4月 「婦人の社会参加のためのプログラム開発」開始



「女性学講座」（昭和62年8月28日～30日）で
 主催者挨拶中の前田第3代館長



延利用者100万人達成の日（5月23日）の利用団体より



中島文部大臣を迎えて国立婦人教育会館10周年記念式典（昭和62年11月12日）



会館10周年記念婦人教育情報国際セミナー
 （昭和62年11月14日～17日）

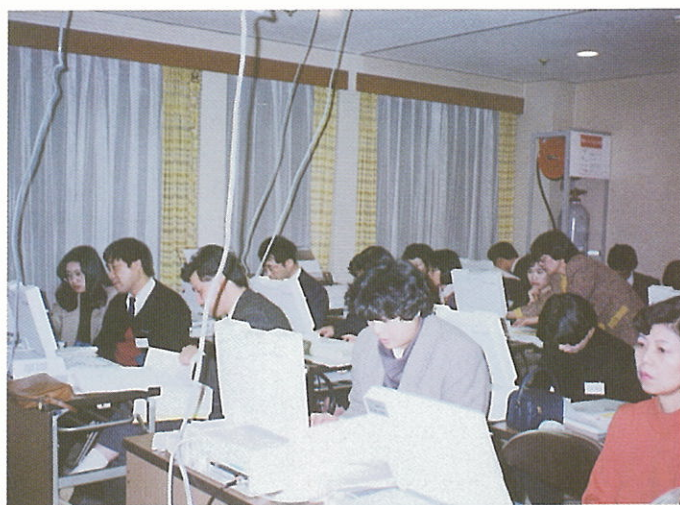


婦人教育情報センター開所（中央は縫田第2代運営委員会会長）
 （昭和62年11月14日）

- 平成元年11月 「女性学国際セミナー」開催
 12月 第1回「女性に関する情報担当者研修会」開催
 平成2年1月 第1回「海外婦人教育情報専門家情報処理研修事業」開催
 11月 第1回「国立婦人教育会館出前講座」開催



平成元年度「女性学国際セミナー」開催（平成元年11月23日～26日）



第1回「女性に関する情報担当者研修会」開催
 （平成元年12月14日～15日）

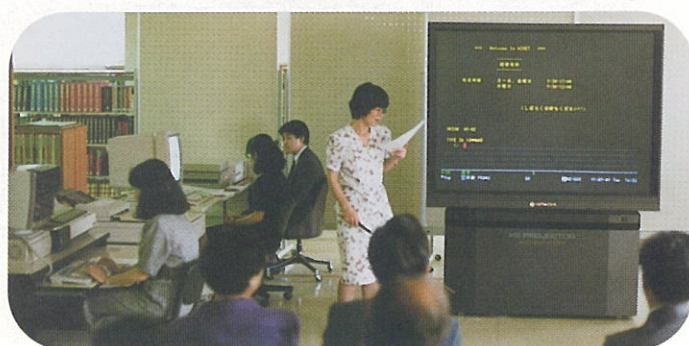


第1回「海外婦人教育情報専門家情報処理研修事業」開催
 （平成2年1月17日～3月20日）

「国立婦人教育会館出前講座」第1回は青森県にて開催（平成2年11月21日）
 第2回は京都府にて開催（平成3年2月13日）



- 平成3年 1月 中型汎用コンピュータを導入
 7月 オンライン情報検索サービス開始
 11月 第1回「女と男のジョイントフォーラム」開催
 平成4年 4月 「青年男女の固定的な性別役割分担意識是正のためのプログラム研究」開始
 学習情報データベースサービス開始
 平成5年 4月 事業課に研究員を配置
 科学研究費補助金取扱い規程が規定する「研究機関」となる
 「社会教育における女性学教育の内容と方法に関する調査研究」開始



オンライン情報検索サービス開始
 —WINET (Women's Information Network System) 女性学習情報システムサービス開始—



第1回「女と男のジョイントフォーラム」開催(平成3年11月29日～12月1日)

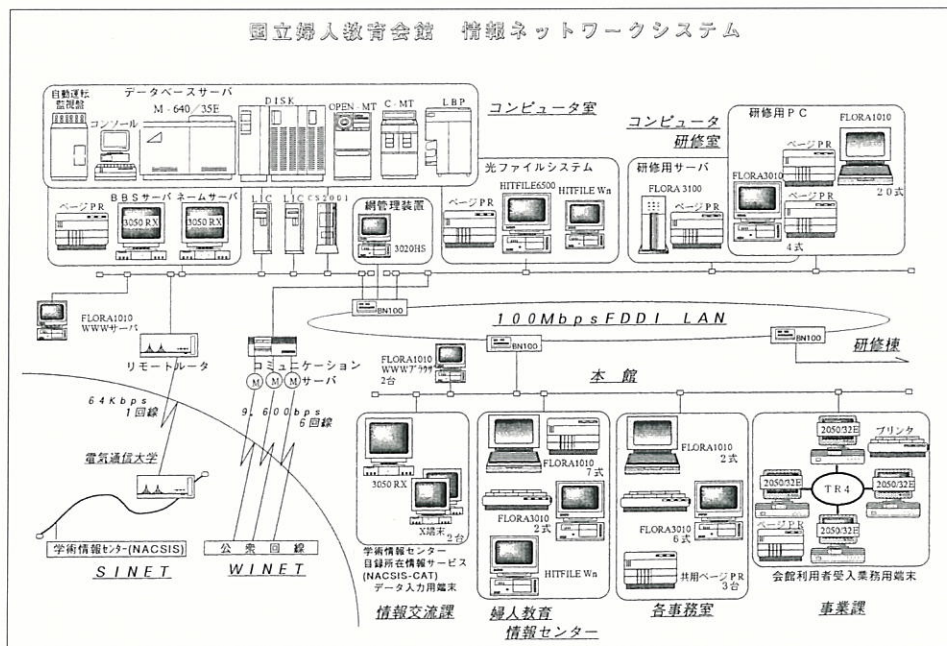


「女と男のジョイントフォーラムの講演を公開」
 —女と男のいい関係—



事業課に
 研究員を配置

- 平成6年 3月 館内情報ネットワーク (LAN) 敷設
パソコン通信システム「WINET-BBS」導入
- 4月 将来構想検討委員会「国立婦人教育会館の将来構想について」を報告
「開発と女性に関する文化横断的調査研究」「都市化社会の進行と家庭・地域の教育機能に関する特別調査研究」
- 平成7年 4月 館長に大野 曜が就任
- 9月 「フォーラム家庭教育」開催



館内ネットワーク (LAN) 敷設



フォーラム家庭教育で主催者
挨拶中の大野第4代館長



かでの2・7

427名参加

マルチメディア利用の対話型遠隔講座

国立婦人教育会館

688名参加

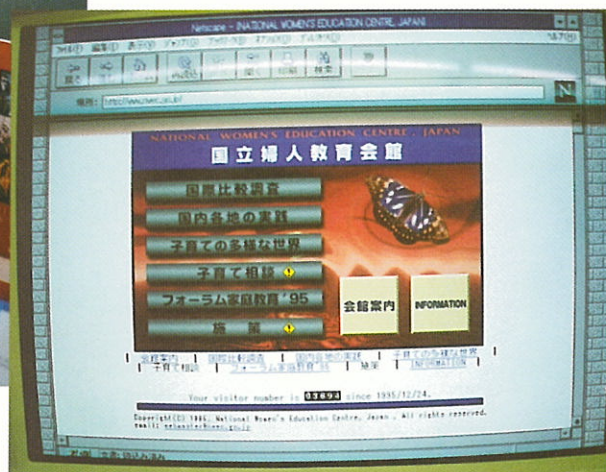


「フォーラム家庭教育」開催 総合テーマ「社会の中の家庭・家族の中の子どもたち」
—男女の協力による新しい時代の子育て、社会との連携の中で担う子育てについて考える—
(平成7年9月29日)

平成7年11月 「第4回世界女性会議・NGOフォーラム北京'95特別展示」開催
 12月 ホームページをインターネット上で公開
 平成8年 1月 第1回「NWECC（国立婦人教育会館）アドバンストコース」開催



第4回世界女性会議 特別展示（平成7年11月1日～12月20日）



ホームページをインターネット上で公開（平成7年12月25日）



第1回「NWECCアドバンストコース」で講義する文部省板東婦人教育課長（現文化庁著作権課長）



「海外婦人教育情報専門家情報処理研修事業」の参加者と講師の文部省大西婦人教育課長（平成8年7月25日～9月4日）

平成8年 8月 「女性学・ジェンダー研究フォーラム」開催

11月 会館利用者延べ200万人達成



「女性学・ジェンダー研究フォーラム」開催（平成8年8月2日～4日）

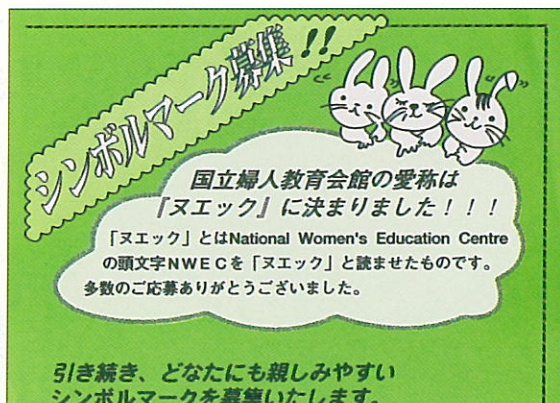


会館利用者延べ200万人達成（平成8年11月28日）

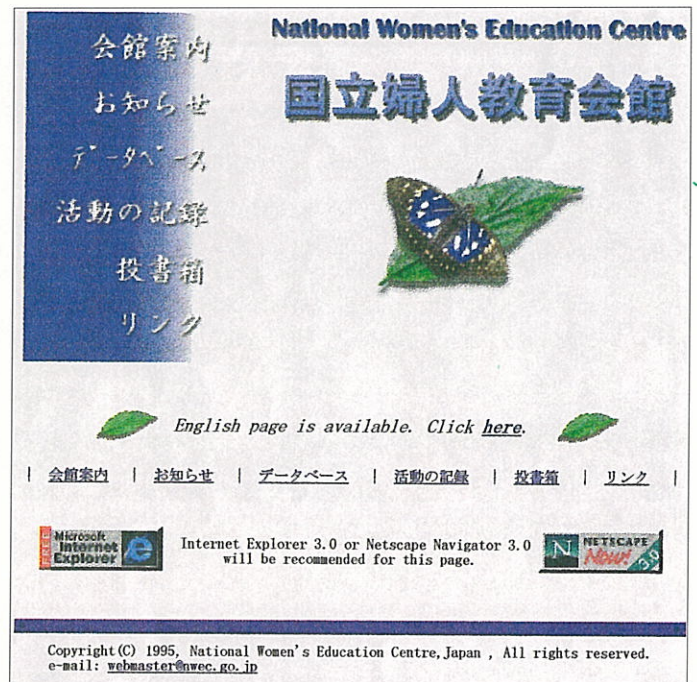


平成8年12月 ホームページ上で家庭教育マルチメディアデータベースを公開
「NWECC（国立婦人教育会館）アドバンストコース」開催

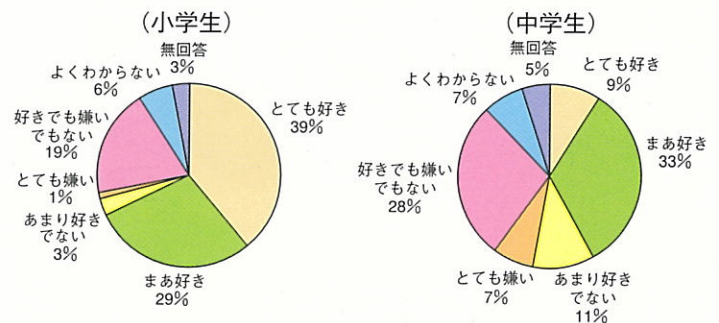
平成9年 1月 愛称「ヌエック」に決定
第1回「女性の教育問題担当官セミナー」開催



正面玄関に愛称「ヌエック」を表示



お父さんが好きですか



ホームページ上で公開しているマルチメディアデータベース検索例



第1回「女性の教育問題担当官セミナー」開催
(平成9年1月28日～2月26日)



「NWECCアドバンストコース」で講義する
藤原第3代運営委員会会長
(平成8年12月16日)

- 5月 国立婦人教育会館20周年記念事業「公開シンポジウム」開催
- 6月 「婦人教育施設職員のためのセミナー」開催
- 8月 「教師のための男女平等教育セミナー」開催
- 9月 「女性施設とボランティアについて考える」ヌエックボランティアの主催で開催



公開シンポジウム「ジェンダーの視点から統計をみる」(平成9年5月26日)



「婦人教育施設職員のためのセミナー」で講演する
神田第4代運営委員会会長(平成9年6月10日)



「教師のための男女平等教育セミナー」
(平成9年8月26日～平成9年8月27日)

～平成9年度文部省委嘱「女性の社会参加支援特別推進事業」～
嵐山発'97
未来をひらく、生涯学習ボランティア



「女性施設とボランティアについて考える」
 日と 時/1997年9月8日(月) 13:00～16:30
 会場/大宮ソニックシティ 4F 404号室
 定員/90名(要予約)
 参加費/無料
 申し込み方法/下記へ往復ハガキにて
 ◎締切/8月30日

ヌエックボランティアフェスティバル
 (1)公開講座 へんてい77-17「嵐山に夢をつなぐ女たち」(定員100名/無料)
 「ヌエックからのメッセージ」
 (2)ふれあいフェスティバル
 (3)生涯学習ボランティア交流会
 「きみから聞かせて」
 申込み締切(11月1日～30日)
 日と 時/1997年11月22日(土)～23日(日・祝)
 会場/国立婦人教育会館
 参加費/無料(税別3,000円、別途2,000円)
 ◎申し込み、お問い合わせは下記へ
 ◎締切/10月20日

◎主催/ヌエックボランティア
 「嵐山に夢をつなぐ女たち」実行委員会
 (参加団体)
 国立婦人教育会館ボランティア協議会
 V社/社会教育施設ボランティア協議会
 ◎協賛/国立婦人教育会館

お申し込み、お問い合わせ先
 国立婦人教育会館 へんてい77-17「嵐山に夢をつなぐ女たち」事務局
 ☎355-02 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728 ☎0493-62-6711(増 2152)

ヌエックボランティアの活動



シンポジウム「女性施設とボランティアについて考える」
(平成9年9月8日)

国立婦人教育会館作成資料



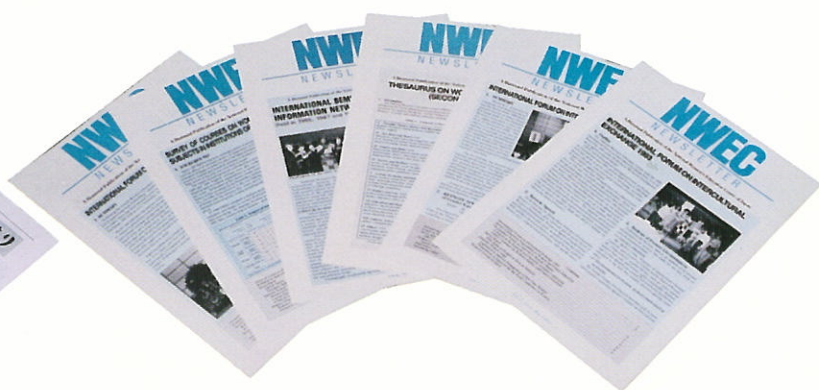
報告書等



婦人教育情報



ヌエックニュース



NWEC Newsletter



報告書等



報告書等

作成資料リスト

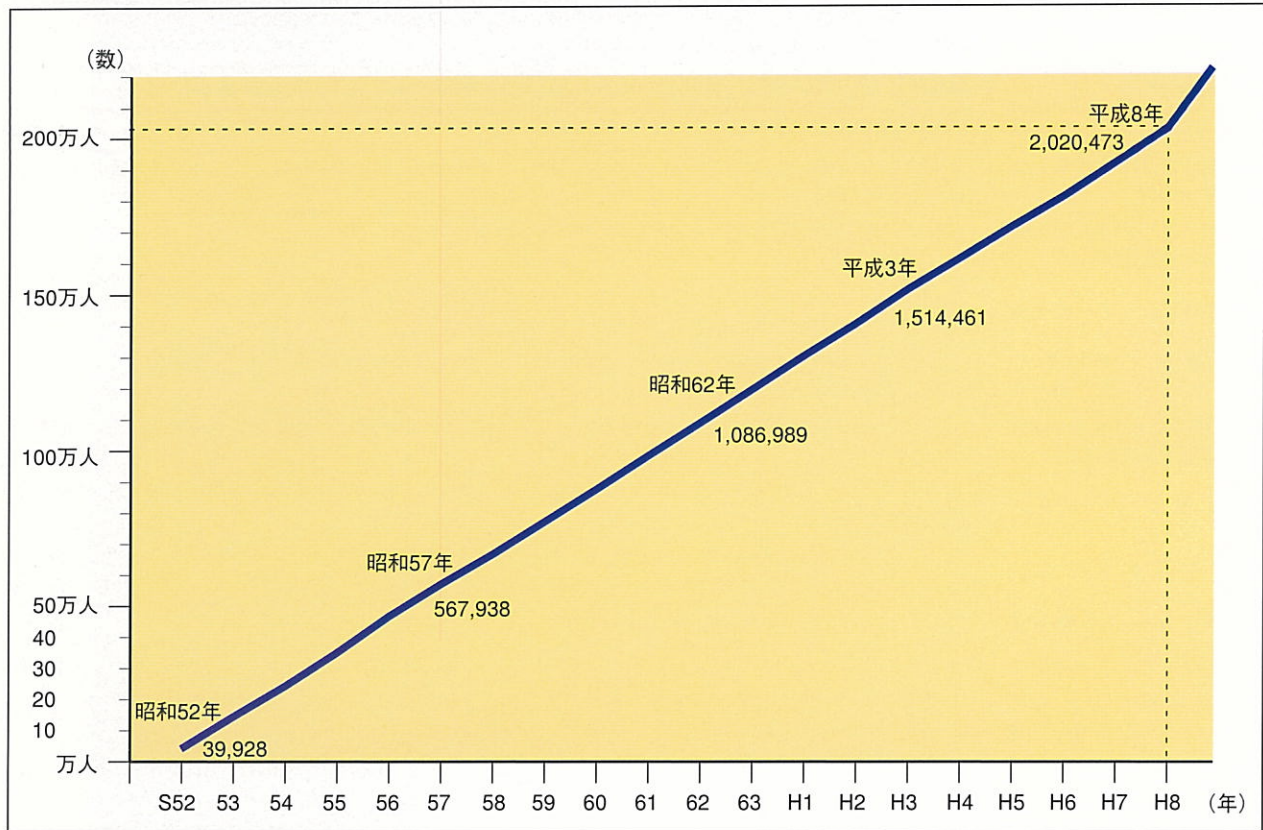
資 料 名		内 容	発 行
定期刊行物	国立婦人教育会館研究紀要	婦人教育、家庭教育、女性学、女性情報学に関する会館の調査研究を国内外に発表するとともに、公募論文を選考して掲載する	年 1 回
	ヌエックニュース	会館の事業及び関連情報の紹介・広報（昭和53年3月～）	年 4 回
	婦人教育情報	婦人教育・家庭教育に関する最新情報の提供（昭和54年～平成9年3月）	年 2 回
	ヌエック・インフォメーション	文献情報及び情報センター利用に関する情報を中心とした会館からの情報発信（昭和54年10月～、「婦人教育情報」を継承）	年 1 回
	NWEC Newsletter	婦人教育・家庭教育に関する情報を中心に、日本の女性の現状について海外へ紹介（昭和59年11月～）	年 2 回
目録類	図 書 目 録	所蔵する図書の分類目録。書名索引、著者名索引付き。	昭和57年～
	婦人教育関係雑誌記事索引集（昭和57年～61年）	集積された雑誌記事索引を対象（対象誌180種）に約5,000件の記事を収録し、キーワード順に配列した索引集	昭 和 62 年
	地 方 行 政 資 料 目 録（昭和54年～平成2年）	所蔵する地方行政資料10,000冊の分類目録。書名索引、著書名索引付き。	平 成 4 年
報 告 書	家庭教育国際セミナー報告書	母親の就業と家庭教育－社会変動と母親の就業及び家族とりわけ父親の役割・地域社会の役割をテーマに研究協議した国際セミナーの成果のまとめ	昭和60、62年
	女性学講座・性役割の固定化・流動化	第2期女性学講座（昭和58～60年）の成果のまとめ。婦人教育担当者・リーダー・女性学に関心のある者向け資料（有料頒布）	平 成 元 年
	高等教育機関における女性学関連講座開設状況調査結果報告	我が国の高等教育機関における女性学関連分野の教育・研究動向に関する調査結果報告書（昭和59年度～）	昭和59～63年、平成3年、6年
	婦 人 教 育 シ ソ ー ラ ス	婦人教育に関する情報のシステム化に資するため、関連する用語を体系的に整備した婦人教育専門用語集	昭 和 62 年、平 成 2 年
	統計にみる女性の現状	人口、家庭・家族、教育、健康、労働、社会的活動等の分野における女性の現状に関する統計データ集。婦人教育担当者及びリーダー向け資料（婦人教育研究会編、昭和62年度～、有料頒布）	昭和62年、平成元年、3年、6年、8年
	国際交流フォーラム報告書	「開発と女性」をテーマに開催した国際交流フォーラムの報告書	平 成 3 年 ～
	家庭教育研究セミナー報告書	子どもの社会化と「ペアレンティング」をテーマとした研究成果のまとめ	平 成 4 年
	婦人の社会参加のためのプログラム開発報告書	社会参加をめざす女性を対象とし、女性が自分の生き方を発見し、自己の能力を開発するための婦人教育の学習内容・方法に関する研究事業の成果のまとめ	平 成 4 年
	女性と国際交流：活動団体案内	主として女性に関わる国際交流を行っている団体について、平成6年に実施した調査結果をまとめた団体案内	平 成 7 年
	女性及び家庭教育に関する学習事例－調査報告－	都道府県・指定都市が実施した女性及び家庭教育に関する学級・講座・講演会等の事業に関する識者研究結果報告書（平成4年度）	平 成 6 年
	女性関連施設の現況－「婦人教育施設等の現況調査」報告－	婦人教育施設及び婦人関連の施設の所管・設置・管理運営者、建物規模、施設・設備の内容、利用対象者、実施事業の種類等の調査結果報告書（平成3年度～）	平成5年、6年
	Survey of Course on Women's Studies and Related Subjects in Institutions of Higher Education in Japan	我が国の高等教育機関における女性学関連分野の教育・研究動向に関する調査結果の英文報告書（平成2年度）	平 成 3 年
	Proceedings of International Forum on Intercultural Exchange	国際交流フォーラムの英文報告書	平成3年、4年、5年、7年
	青年男女の固定的な性別役割意識是正のためのプログラム研究 報告書及びプログラムガイドライン	青年男女が性別役割に拘束されず、多様な人生を選択できるような態度・能力を養うための学習機会についての学際的・実践的研究（平成4～6年）事業の成果のまとめ、及び実験プログラムのガイドライン	平 成 7 年
	家庭教育研究セミナー・国際セミナー報告書	多様化する現代の家庭・家族を考察し、「少子化時代の家庭教育」をテーマとした調査研究（平成4～6年）、及び1994年の『国際家族年』にちなみ同テーマで開催した国際セミナーの報告書	平 成 7 年
	アジア・太平洋地域の女性政策と女性学	会館とお茶の水女子大学女性文化研究センターが文部省科学研究費（国際学術研究）補助金を受けて共同で行った（平成4～6年）、太平洋地域8カ国の女性の地位・施策・教育及び女性学についての研究報告書	平 成 8 年
	国立婦人教育会館主催事業報告書	会館が実施した研修・交流・情報・調査研究事業の実施概要の報告書	平 成 8 年 ～
	女性及び家族に関する統計データベース研究開発報告書	女性及び家族に関する統計データベースの在り方及び提供システムに関する調査研究の作業報告書	平 成 9 年
	平成8年度 女性学・ジェンダー研究フォーラム報告書	女性のエンパワーメントと人権の確立を目指した自主企画のワークショップを中心に開催したフォーラム報告書	平 成 8 年
	社会教育における女性学教育の内容と方法に関する調査研究報告その1 平成5年度～8年度	社会教育の場において、女性学の成果についてどのような内容をどのような方法で教育／学習すればよいか調査研究してきた報告の一部	平 成 9 年
	女性学教育／学習ハンドブック－ジェンダーフリーな社会をめざして	「社会教育における女性学教育に関する内容と方法に関する調査研究」成果報告 社会教育・生涯学習・女性センターの担当者、学習者必携の実践的ハンドブック	平 成 9 年

2

利用の状況

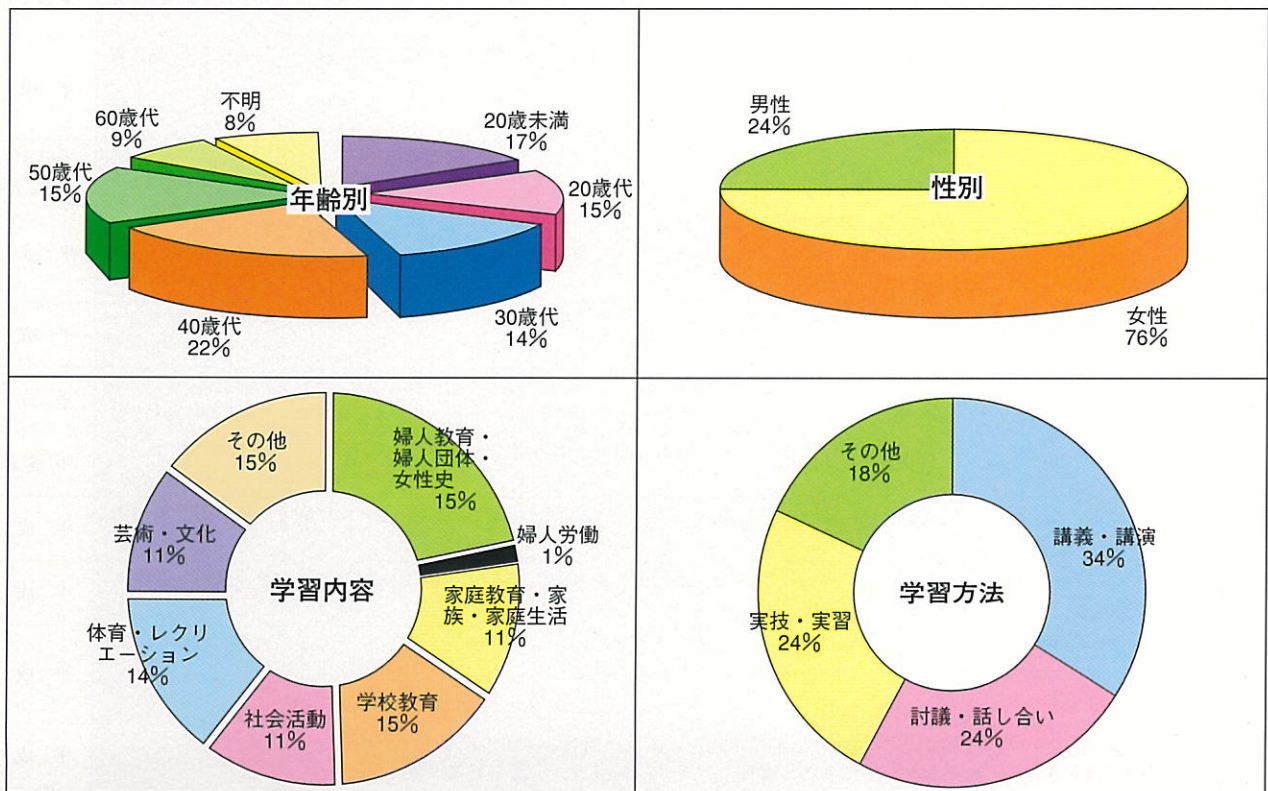
(1)年度別利用者数の推移

延べ利用者数



平成8年度の利用状況

年齢別・性別・学習内容・学習方法



(2)外国人の利用状況

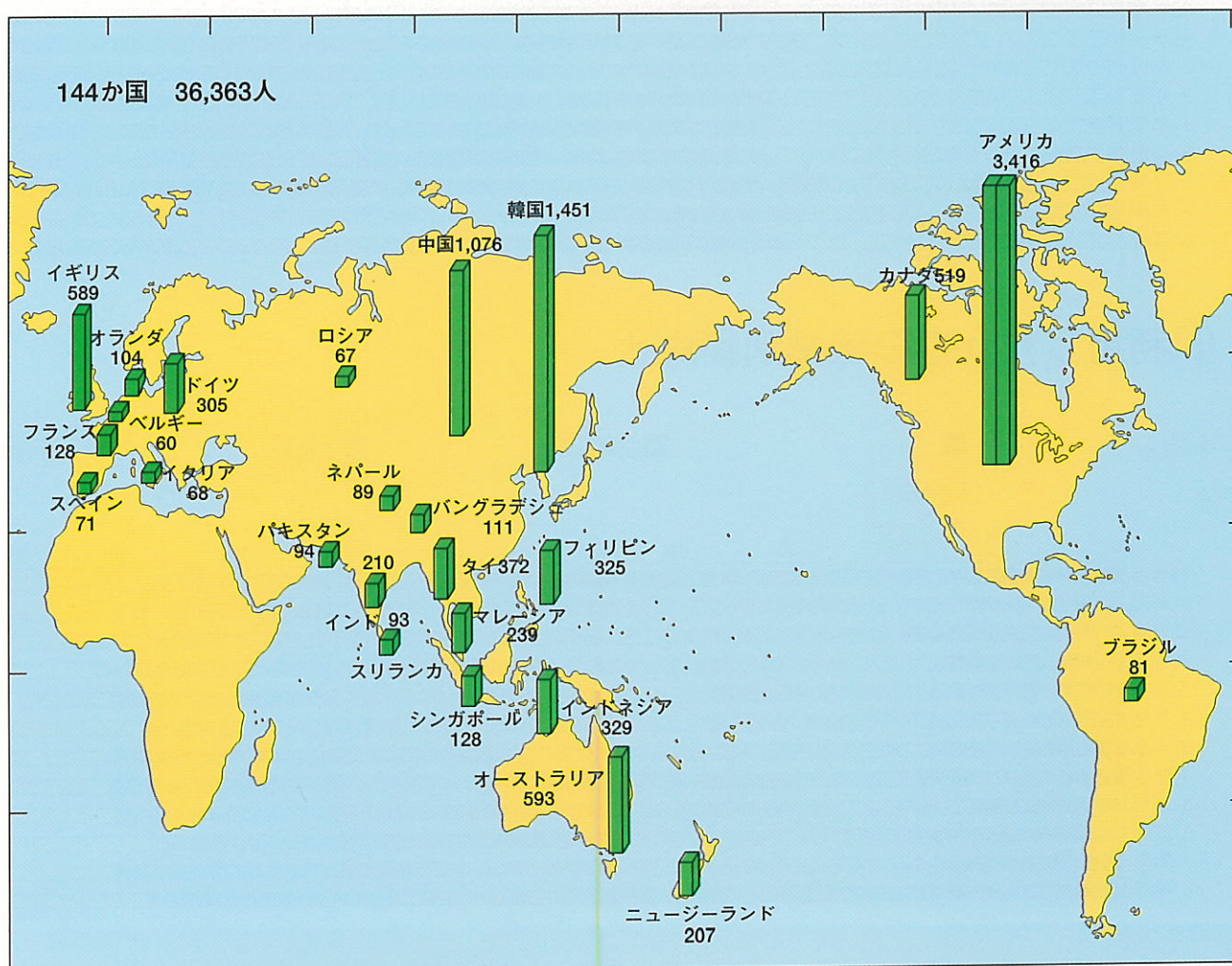
利用者数

国際会議、国際交流、見学等を目的とする外国人の利用状況は、開館以来平成9年3月末で、144か国から、実数12,034人、延べ数36,363人となっています。

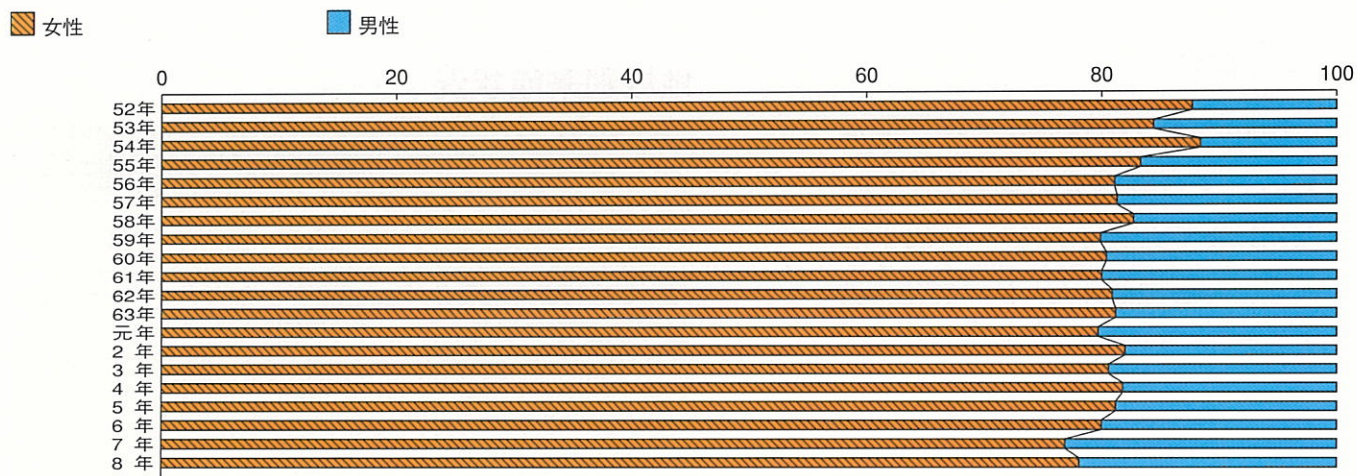
地域別来館状況

地 域	来館者実数	国数
東・東南アジア	4,746	23
中 近 東	101	11
大 洋 州	986	14
ア フ リ カ 州	243	36
ヨ ー ロ ッ パ 州	1,683	30
北 ア メ リ カ 州	3,935	2
中・南アメリカ州	340	28
合 計	12,034	144

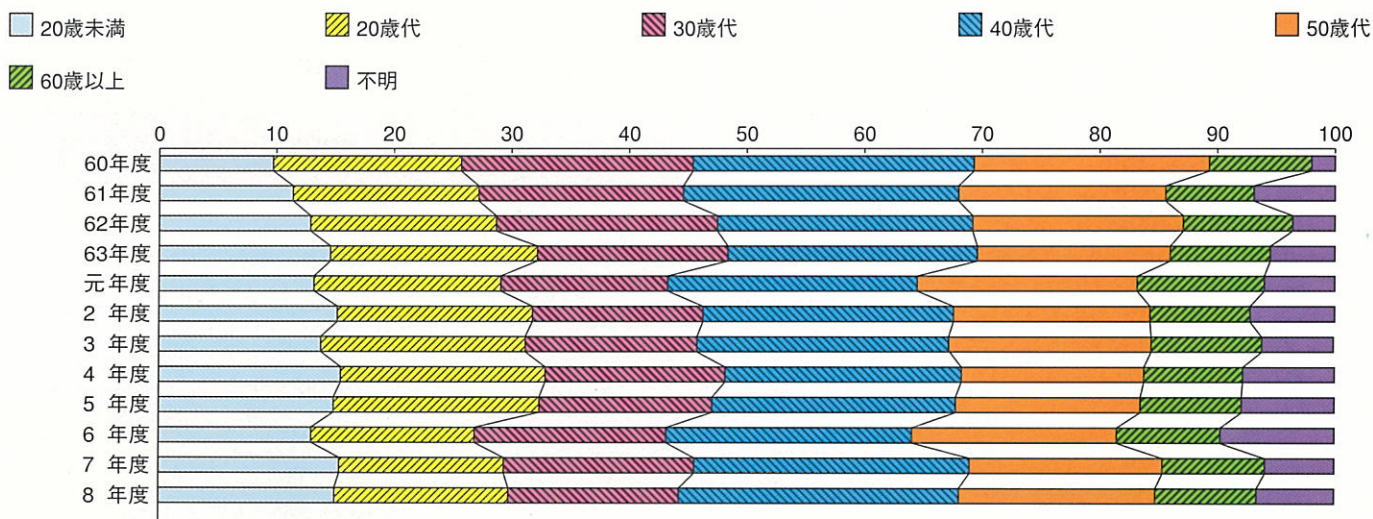
来館者実数国別ランキング



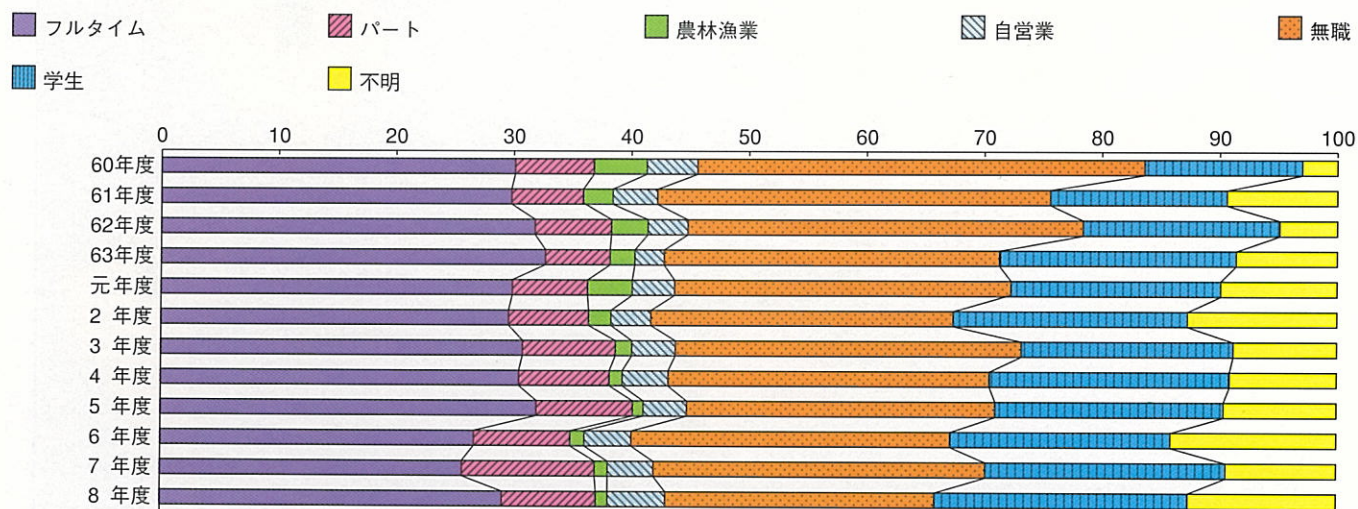
(3)性別利用状況



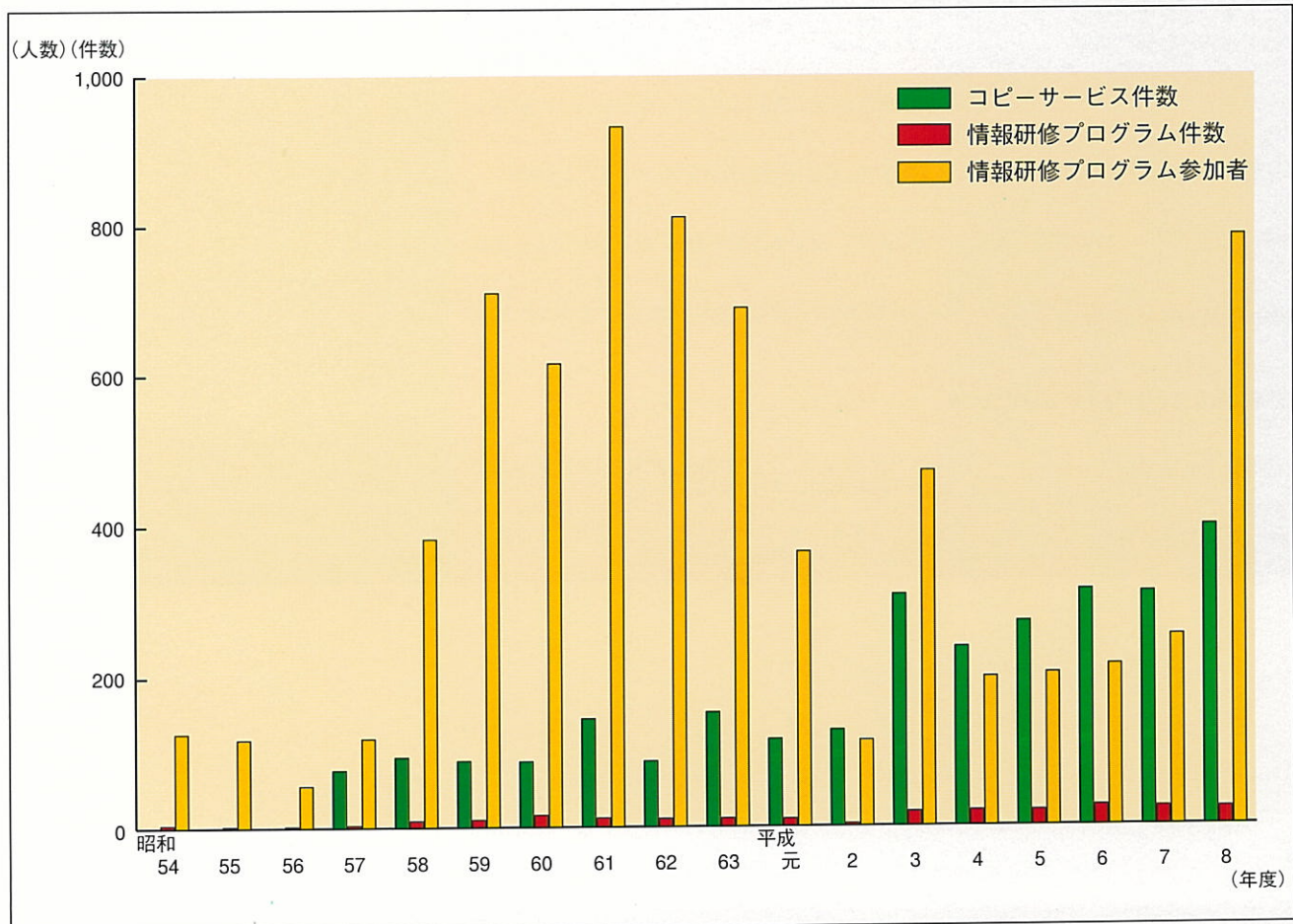
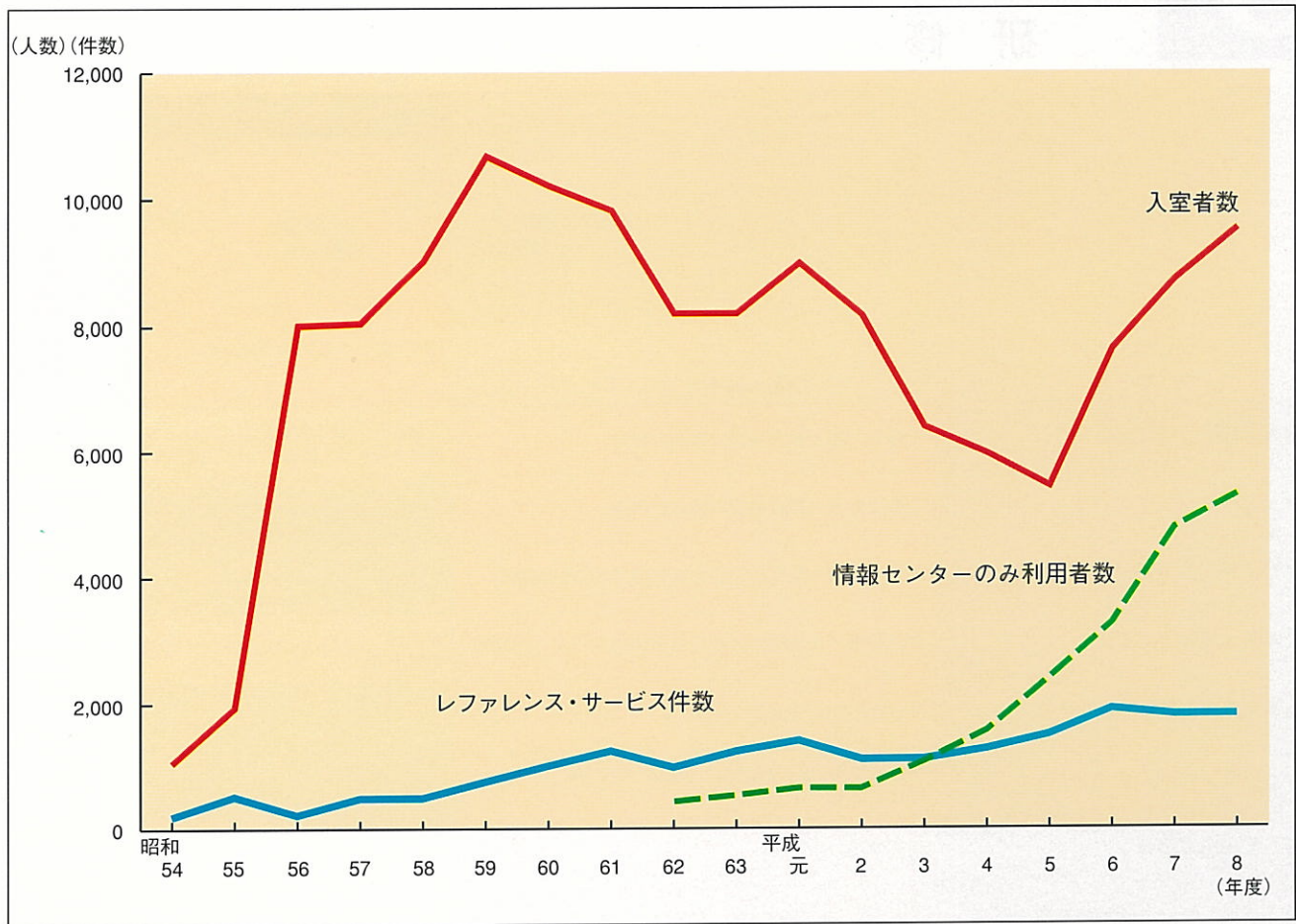
(4)女性の年代別利用状況



(5)利用した女性の職業別構成比



(6) 婦人教育情報センターの利用状況



3

国立婦人教育会館主催事業の変遷 (昭和52年～平成9年)

研 修

事業名	対象・特徴など	国内の動きと目標など					
		昭52 年以前	昭52 '77	53 '78	54 '79	55 '80	56 '81
		昭50 国際婦人年「世 界行動計画」		「国連婦人の10年」(1976～1985) 国際児童 女子差別撤廃 条約採択	「後期行動 プログラム」		「国内行動計画後 期重点目標」 「中教審答申」
			「国内行動計画 前期重点目標」				
		「平等・開発・平和」への取組の視点					生涯教育の重
婦人教育施設研究集会	公私立の婦人教育施設の職員の研修	(文部省 直轄事業)	婦人教育施設における婦人教育施設職員の充 実、推進について情報交換				
婦人教育施設セミナー	公私立の婦人教育施設の職員の研修						
女性に関する情報担当者研修会	公私立の婦人教育施設等の情報関連業務担当職員						
全国婦人団体研究集会	都道府県・指定都市の女性の団体のリーダーの研修	(文部省 直轄事業)	婦人教育事業への取組についての情報交換			「国連婦人の10年」 の成果、団体活動	
全国家庭教育学級研究集会	家庭教育学級、家庭教育学習グループ、PTAのリーダー研修						
女と男のジョイントフォーラム	男性に対する婦人問題学習の機会 参加者の1/2～1/3は、 男性を条件						
婦人学級研究集会	婦人学級のリーダー			(学習の内容及方法の情報交換)		(婦人問題学習グループワーク)	
婦人ボランティア活動研究集会	ボランティア活動グループ等のリーダー			(ボランティア活動に関する学 習の企画・立案の演習)		(ボランティア活動の輪を広げ る情報交換事例報告)	
婦人の学習活動専門講座 女性の学習活動専門講座	婦人教育(家庭教育)行政担当者、学習グループのリー ダーの研修						
アドバンスコース	行政担当者、婦人教育、家庭教育に関するリーダー等の研修						
国立婦人教育会館出前講座	都道府県、指定都市教育委員会等との共催による事業						
女性の生涯学習のための地域セミナー	都道府県、指定都市教育委員会等の共催による事業						
教師のための男女平等教育セミナー	教職員及びその他の学校教育関係者(教育委員会、指 導主事等)						
海外婦人教育情報専門家情報処理研修事業	アジア太平洋地域の婦人行政担当者						
女性の教育問題担当官セミナー	太平洋・アジア・中南米地域の開発途上国の政府機関 等で教育問題に携っている担当者						
フォーラム家庭教育	子どもをもつ親、これから親になる男女、家庭教育 学級のリーダー他関心を持つ人達						

57 '82	58 '83	59 '84	60 '85	61 '86	62 '87	63 '88	平元 '89	2 '90	3 '91	4 '92	5 '93	6 '94	7 '95	8 '96	9 '97	
平等・開発・平和			「ナイロビ 将来戦略」					「ナイロビ将 来戦略勧告」					「第4回世界 女性会議」	「男女共同参 画ビジョン」		
			臨教審答申」(第1次～第4次) 女子差別撤 廃条約批准		「新国」内行 動計画」	文部省生涯 学習局設置	「中教審答申」	生涯学習 振興法施行	「改定新国内 行動計画」	「生涯学習 審答申」		1994年 国際家族年		「男女共同参画 2000年プラン」 「生涯学習答申」 「中教審答申」 (第1次)	「中教審答申」 (第2次)	
要性の認識			生涯学習社会の形成 家庭と地域の教育機能 の活性化		男女共同参加型社会の 形成(女性の社会参加、 男性の地域・家庭参加)		生涯学習の基盤整備		男女共同参画社会の形成 (女性の政策方針決定参加、WIDの視点)				エンパワーメント、 ジェンダー視点、生きる力			
おける婦人教育施設の役割ー生涯学習、女性の再教育、社会参加)					全国婦人教 育セミナー	(女性の能力開発に果たす婦人 教育施設の役割)		(学習プログラム企画の演習 ー女性学、社会参加)		婦人教育施設と 生涯学習プログラム						
														職員、館長 各コース	企画担当、情 報担当、館長 各コース	
							(女性に関する情報提供業務の内容と方法)							施設セミナー 情報コースへ 統合		
							← 1泊2日 →		← 4泊5日 →							
後半期の課題への婦人団体の取組とそ の展望について討議)							(地域社会の変化の中で、地域をつくるための活動 の在り方、ネットワーキング)									
([変貌する家庭と家庭教育の課題] ー共働き家庭など)			([21世紀を担う子どもを育てる家庭教育]ー子どもの発達段階別課題、豊かな 社会の中での家庭教育の課題、子育てへの父親の共同参加、親の役割など)													
									(男女共同参画型社会の形成をめざして) ー男と女のいい関係ー							
([学習を創る]ー当該年の会館主催事業から得た 婦人教育、家庭教育の課題の学習)					(当面する婦人教育、家庭教育の周知ー生涯学習・社会教育行政、女性学など)											
													← 4泊5日 →			
								青森県 京都府	広島県 北海道	新潟県 沖縄県	秋田県 香川県	三重県 岡山県	岐阜県 仙台市	佐賀県 福岡県、福島県		
														兵庫県、富山県 福島県		
														(学校教育の中 のジェンダー/ 男女平等教育 を考える)		
								(パソコン操作による女性に関するデータの加工・編集及びレポート作成)								
								← 9週間 →				← 6週間 →				
														9カ国9名		
													(みんなで担う 楽しい子育て)	(豊かな心を 育む子育て)	(生きる力を 考える)	

交 流

事業名	対象・特徴など	昭和52 年以前	昭52 '77	53 '78	54 '79	55 '80	56 '81	
婦人国内交流集会	都道府県、市町村の婦人国内研修グループ等の交流					(交流と研修の輪を広 課題に関する情報交		
全国婦人教育交流集会	女性をめぐる課題に関する意見文を公募し、参加者を決定(100名)				(今日的課題について婦人問題の 人の十年、高齢化社会、家庭教			
女性の交流フェスティバル	国立婦人教育会館の機能を利用した研修・交流を希望 する都道府県・市町村等が企画する女性研修グループ 及び全国の女性の団体・グループ等							
女性学・ジェンダー研究フォーラム	女性学・ジェンダー研究に関心のある成人男女							
婦人教育国際交流事業	諸外国の婦人教育関係者によるセミナー等						(婦人の社	
婦人国際交流集会	国際交流に関心のある婦人グループ、個人、在日外国人等							
国際交流フォーラム	国際交流、国際協力、異文化理解等の活動を実施または 専門とする団体、グループのリーダー等							
女性と生涯学習国際フォーラム	女性関連施設関係者、女性問題に関心のある者、国際交流 活動に関心のある者							



紅葉の和庵



アジサイ

	57 '82	58 '83	59 '84	60 '85	61 '86	62 '87	63 '88	平元 '89	2 '90	3 '91	4 '92	5 '93	6 '94	7 '95	8 '96	9 '97
げる一各県市の研修 換)	(婦人の社会参加と教育・学習に関する情報交換一婦人団体の 役割、地域社会への男女共同参画など)								(ともに語り、ともに考える 一婦人教育、家庭教育のプロ グラム提供を会館及びボラン ティアが提供)			(ともに語り、ともに創る)			(共生のための ネットワーク)	
視点で討議一国連婦 育、再教育)																
																(エンパワーメン トは21世紀へ の合言葉一新 たなる共生をめ ざしてー)
															(女性のエンパワーメントと 女性学・ジェンダー研究 北京から2000年へ新しい 価値の創造)	
会参加と生涯教育)																
				(ともに生きる一交流を通じて 知るあなたの国、私の国)			(女性と国際交流)									
									(女性と国 際交流)	(開発と女性)			(少子化時代 の家庭教育)	(草の根ネッ トワーク)	(女性の教育・ 学習とエンパ ワーメント)	
																(21世紀へむ けての女性の ネットワーク)



空から見た国立婦人教育会館

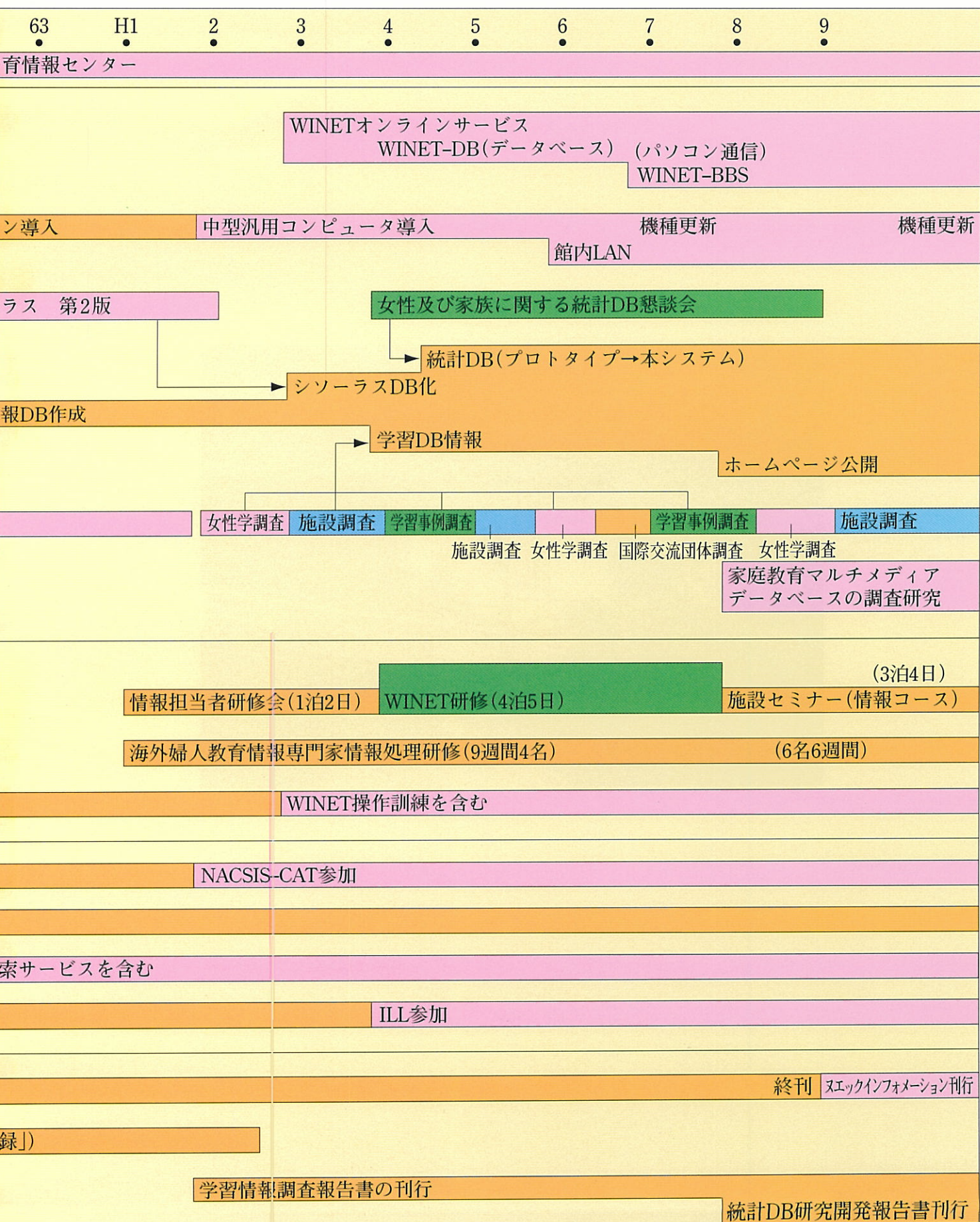
調査研究

事業名	対象・特徴など	昭和52 年以前	昭和52 '77	53 '78	54 '79	55 '80	56 '81
婦人教育研究セミナー	婦人教育の専門家による研究討議報告書作成			(婦人の能力開発の課題など 一自立の阻害要因など)			(婦人の社会参 加と能力開発)
ユネスコ「婦人のための教育・訓練・ 雇用」に関する国際セミナー	ユネスコ、日本ユネスコ国内委員会及び会館の共催。 12カ国14名の専門家					(婦人のための教 育・訓練・雇用)	
都市化社会の進行と地域の教育機能に 関する調査研究	都市化の進行により家庭・地域が変化する中で「ゆとり」や 「生きる力」をはぐくむ家庭・地域の教育の課題について、 実践的・学際的な調査研究を行う						
プログラム開発	婦人の社会参加のためのプログラム開発報告書作成。 研究委員等15名 青年男女の固定的な役割分担意識是正のための プログラム研究。研究委員10名						
女性生涯学習のためのプログラム研究	婦人教育・家庭教育・女性学関連分野の研究者、婦人 教育、生涯学習センター等関係者及び企業関係者						
家庭教育研究セミナー	家庭教育関連分野の研究者による研究討議など。報告書作成				(家庭教育の課題)		現代における家
家庭教育国際セミナー	国内外の家庭教育関連分野の研究者による研究討議など						
婦人教育史に関する調査研究	戦後の婦人教育史に関する基礎資料の収集整理、分析						
女性学講座	女性の生活をめぐる諸問題について女性の視点で 学際的研究を行う。(参加者は公募)					(家庭、職場、社会などの生活環 境、法律の分野から女性の役	
女性学研究講座 社会教育における女性学 教育の内容及方法に関する調査研究	女性学関係分野の研究者等						
女性学国際セミナー	女性学の課題及び今後の展望について地球的視点から 研究討議。海外からの報告者7名を含む21名の専門家						
西欧における女性学研究・教育の現状 に関する調査研究	海外学術研究学術調査 (西ドイツ・イギリス・フランス・イタリア・オランダ・ベルギー)						
開発と女性に関する文化横断的調査研究	女性が主体的で自立した開発の担い手となるための エンパワーメントについて実証的学際的な研究を行う						
OECD・CERI家庭教育国際セミナー	OECD・CERI、文部省及び会館の共催。13カ国20名の参加						
婦人教育情報国際セミナー 情報に関する婦人教育国際セミナー	婦人教育情報活動の現状と課題を明らかにし、 ネットワークの形成に資する						
ESCAP地域婦人情報ネットワークセミナー	ESCAPを中心とするアジア太平洋地域婦人情報ネットワーク 確立について検討し、今後の活動に資する						
婦人教育シソーラス調査研究会	婦人及び家族に関する分野の専門用語の体系化に関する 調査研究を行い、「婦人教育シソーラス」を作成する						
新教育メディア研究開発事業	文部省委嘱事業						
家庭教育に関するマルチメディア データベースの調査研究	家庭教育に関するマルチメディアデータベースを構築するとともにデータベースを 利用した家庭教育に関する学習プログラムについて調査研究を行う						
高等教育機関における女性学関連講座 開設状況調査	高等教育機関における女性学関連分野の教育・研究動向を 把握し、同分野の発展に資する						
婦人教育施設等の現況調査	婦人教育施設等の現況を調査することにより、 情報交換を促進し、学習機会の拡充を図る						
女性及び家庭教育に関する学習事例調査	学習事例を収集し、データベース化することにより、 情報交換を促進し、学習機会の拡充を図る						
女性及び家族に関する統計の調査研究	女性及び家族に関する統計データベースのあり方について検討する						

	57 '82	58 '83	59 '84	60 '85	61 '86	62 '87	63 '88	平元 '89	2 '90	3 '91	4 '92	5 '93	6 '94	7 '95	8 '96	9 '97	
																(男女共同参画社会形成を目指した家庭・地域の教育機能とは)	
							(女性の社会参加を進めるために必要な学習プログラムを研究)										
											(青年男女の固定的な性別役割分担意識是正のためのプログラム研究)						
											(青少年教育への婦人教育のアプローチ)						
庭の教育的役割)		(母親の就業と家庭教育)					(子どもの社会化とペアレンティング)－親性をどう育てるか				(少子化時代の家庭教育)						
			(社会変動と母親の就業)		(父親の役割、地域社会の役割)				(親性をどう育てるか)				(少子化時代の家庭教育)				
						(戦後婦人教育史に関する研究－昭和20～35年を中心に)											
境、歴史、自然科 割を考察)		(性役割の固定化・流動化)－性役割の形成の要因、流動化の為の展望			(性・性差、性役割を考える－自然や社会との関連で)				(人権と性－男女共生、セクシュアリティ、新たな関係の形成の視点)			(変革への力)					
												(女性学教育の内容と方法の構築)					
								(性役割を考える)									
										(西宮における女性学研究・教育)							
												(社会政策等のジェンダー分析と女性のエンパワーメントの調査研究)					
		(家庭の教育的役割)															
				(婦人に関する国際的情報ネットワーク)		(2000年に向けての婦人教育情報ネットワーク)											
					(婦人情報ネットワークシステムの開発)												
		(調査及び“婦人教育シソーラス”昭和61年版・第2版の刊行)															
														(遠隔講座マルチメディアデータベース作成)			
														(マルチメディアデータベース作成)			
		(調査及び報告書の刊行 昭和58～63年毎年)							(調査及び報告書の刊行)			(調査及び報告書の刊行)				(調査及び報告書の刊行)	
										(調査)	(報告書の刊行)						
											(調査及び報告書の刊行)			(調査及び報告書の刊行)			
											(データベースの開発)				(報告書の刊行)		

情報事業の変遷

事業名	S53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	
		情報図書室									婦人教
WINET (女性及び 家族に関する 情報データ ベース)						情報協力者会議 (基本構想)					
									オフコ		
							シソーラス 昭和61年版		シソー		
									文献情		
						女性学調査					
情報研修											
		情報研修プログラム(新聞クリッピング等)									
資料の収集 閲覧・提供		資料の収集・整理									
		閲覧サービス									
			レファレンスサービス								情報検
			コピーサービス								
情報誌・ 目録類の 刊行		「婦人教育情報」の刊行									
			蔵書目録の刊行（「図書目録」「雑誌記事索引集」「地方行政資料目								





裏表紙のシンボルマーク

両手を空に掲げ、希望に燃える女性像をデザイン化

オオグシ セイジュ
大串 誠寿さん(福岡市在住)の作品を加筆

開館20周年記念誌

目で見える20年のあゆみ

平成9年11月14日

編集・発行

国立婦人教育会館

